

# 「大黒字なのに切り捨てか」

# 「コロナ便乗」人員削減

コロナ禍でも雇用や下請け関連企業を守る体力が十分あるはずの大企業が、次々とリストラを打ち出しています。普段なら難しいリストラを、この機にやって収益拡大をはかろうという「コロナ便乗リストラ」の様相が浮かび上がっています。

(田代正則)

## ソニー

「新型」コロナの影響でリスクが顕在化しており、新たなチャレンジが求められます。場を変えて経験・知見をいかせる社員も多いと思うので、社外転身を支援していきます」

大手電機ソニーの開発専門会社「ソニーエレクトロニクス」(SEG)の従業員557人で10月中旬、在宅勤務をしている技術者約200人を集めたオンライン会議で突

然、上層部から早期退職募集が告げられました。対象は45歳以上、勤続10年以上。会議で「希望退職の目標は？」との質問が出ても人数は言わず、「希望者全員に対応する」と最大限の退職者を追求する考えを示しました。

技術者はその後、わずか15分の個人面談に次々と呼び出されました。廊下ですれ違っても、だれもがうつむき言葉を交わ

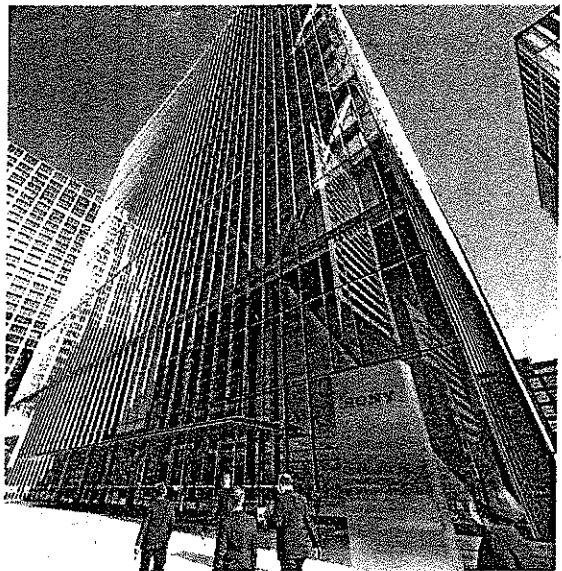
す人はいませんでした。面談で労働者の一人は「(退職)制度に手をあげるか」と聞かれ「希望しません」と答えました。コロナ禍で再就職先がみつかる保障などないと考えたからです。しかし、「今後のキャリアアップを考えてほしい」と再考を求められました。

2回目の面談で、考えてきたソニー内での将来設計を説明すると「そんなことは聞いていない」と一蹴。何を答えても退職を受け入れるよう強く迫られ、3回目の面談実施を通告されました。

### 憤る技術者

リストラ対象のSEGは、びったり密着するイヤホンをはじめ、コンサートで数万本のペンライトを連動させる装置、オンラインで音楽を録音・交流できるシステムなど個性的な製品を開発。「自由闊達にして愉快なる理想工場」といわれ、ソニーらしさを体現する会社だけに、「これからのソニーはこうなるのか」「その人しかやっていない仕事も多いのに、どうするのか」との声が聞かれます。

ソニーの9月期中間決算は、業績もり需要



ソニー本社―東京都港区

で営業利益5461億円と上半期で過去最高。内部留保は3月末の4兆4090億円から、9月末5兆2450億円と、これも過去最高です。

「会社は大黒字で新入社員も採用するなのに、なぜ私たちを切り捨てるのか」と技術者の一人は憤ります。

(3面につづく)

12/19 五旗